



SKシリーズ

水に濡れても腐らない建材!大切な家屋を守ります。

【セイキのハイブリッド建材】
水に濡れても腐らない!大切な家屋を守ります。セイキ販売商製ハイブリッド建材「SKシリーズ」は発泡樹脂にアルミ芯材を一体成形することで伸縮を許した画期的な建材です。耐腐食性に優れ、工場生産による節やさくずれのない安定した品質で木材にプラスアルファした数々の特長を備えています。また、リサイクル樹脂を使用していますので環境にもやさしい建材です。(エコマーク認定商品です。)

施工性もよく、釘・ビス打ち、ノコ切断は木材と同等です。根太、同縁、鼻棧、瓦棧と種類も豊富に取り揃えております。何卒よろしくお願ひ致します。

このたび、経営研究委員会にて別掲の商品を新たに取り扱うこととなりました。このことは、先

度10月1日より注文受付をいたします。注文書様式、価格表は別途支部長宛に県板事務局より発送いたします。各組合員の皆さんに多数ご利用いた

**新商品の
取り扱いについて**



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市昭和区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

【商品に関する問い合わせ】

田村駒エンジニアリング(株)

名古屋営業所

TEL 052-745-5603

担当 下澤

だけますようご案内いたします。

経営研究委員会
委員長 富本育三

午前は、浅岡氏が「耐震診断と補強方法」について、岩瀬氏が「耐震補強の実務」について講義をした。

午後からは、パソコンを使った耐震診断方法と補強方法の例題に取り組んだ。受講者は初めて使

講習に先立ち、久世明男西三板金連合会会長より、「自治体の補助金申請までできれば申し分ないが、板金工事のついでにできる有効な補強方法を習得してほしい。」と挨拶があった。

この講習会は三河建設会から岩瀬幸博氏、浅岡正和氏、高橋和男氏、大滝晴彦氏の4氏を講師にお招きし、18名の受講者で行われた。

**耐震診断及び
改修施工講習会**

久世会長(左)と4名の講師



強した建物と補強していない建物の同時に見える実験の動画を見た。1回目の揺れで補強してない建物は倒壊してしまっていた。2回目の揺れで補強した建物も倒壊してしまつた。「耐震補強とはそういうものです。しかし、避難する時間的ゆと

うソフトに戸惑いながらも、4名の講師に指導され、例題をこなしていた。その後、阪神淡路大震災と同じ揺れを、耐震補強した建物と補強して

パソコンを使った講習風景



この講習の受講料は、ソフト(申請書類等含む)、テキスト、昼食込みで一万円であったが、受講者各自の今後の活用の仕方によっては、非常に価値打ちなものであったのではないだろうか。

安形(岡崎支部)

りが有り、命が助かる確率が大幅に高くなるでしょう。お客様にも見ていただき、理解していただけていくべきことです。」という先生の言葉が印象的であった。(この動画は防災科学技術研究所のホームページで見ることが出来る。)

中川・港支部

ビヤパーティー開催

中川・港支部は毎年恒例となっているビヤパーティーを8月7日(土)名古屋駅前的大名古屋ビルディング屋上のマイアミで行った。

今年は7月中頃から記録的な猛暑が続くなか、組合員と青年部の23名の他、名古屋連合会の小野

寺会長、後藤副会長、青年部長の蟹江氏(知多支部)も参加されて、午後7時から始まった。2時間半の生ビール、ジュース等飲み放題、焼肉、そばの他デザート等の種類も多く有りバイキングで食べ放題。舞台も作られており、女性デユオによ

るダンスショーもやっていて大いに盛り上がった。伊藤勲(中川・港支部)



▶ 乾杯!

8月度の動き

【県板】

3日(火) 中央会情報

研究会総会 於 名古屋通信会館 出席 武田

5日(木)・6日(金)

中板協常任理事会 於 富山市 出席 理事長・武田

24日(火)

技能士会 於 県板3階 尾張名古屋 職人展全体会議

26日(木)

職人展全体会議

於 伏見ライブ プラザ

出席 後藤・武田

【各支部】

千種支部

20日 支部会

2名

昭和支部

10日 常会

13名

瑞穂支部

1日 定例会

18名

熱田・南支部

19日 定例会

6名

・職人展について、他

中川・港支部

7日 親睦会

23名

一宮支部

23日 青年部定例会

7名

津島支部

26日 役員会

13名

江南支部

5日 定例会

7名

西三板金連合会

20日 定例会

10名

23日 役員会

6名

岡崎支部

29日 耐震講習会

18名

26日 役員会

20名

・レクリエーション打合せ

編集後記

9月に入っても猛暑が続く。8月26日(木)も暑かった。この日は知人に誘われ、陸上自衛隊の富士総合火力演習の予行を見学する為、東富士演習場へバスで出かけた。

夜明け前の午前4時、月明かりの中、乗車場所に集合。無風状態で、立っているだけでも汗が出てくる。

バスは東名高速を走り、裾野ICで降りた。15分ほど下道を走り午前8時半にバス専用の駐車場に到着。ここからは徒歩で1.5キロ位なだらかな山道を登る。ほとんどの人がリュックを背負い、タオルを首や頭に巻いている。

登り切ると、木立が消え、忽然と会場が現れた。3万人位は収容できる観覧席はもう既に半分以上埋まっている。正面には富士山がそびえたっているのだが、あいにくその部分だけ雲がかかって見えなかった。

29日(日)が演習の本番であるが、今日の予行も本番同様に行われ、午前10時10分より開始された。前段の1時間は、陸上自衛隊の主要装備品が紹介され、それぞれの火力が標的に向け正確な実弾射撃を行った。観覧席まじかから轟音とともに発射された砲弾が数キロ先の目標に着弾し白煙を上げる度に、「オオー」というドヨメキが沸いた。

又、多くのヘリコプターも登場し、空中からの攻撃を行ったり、隊員のロープ降下や偵察オートバイ、ジープを搬入した。

15分の休憩後、後段に移り、一連の状況下での戦闘が行われた。10両位の戦車が一斉に砲撃を加えた時には、白煙がモウモウと上がり、晴れていれば見える筈の富士山が覆われる程であった。

12時に演習は終了し、我々のバスは自衛隊富士学校を見学した。ここでは90式戦車に試乗した。戦車の外部後尾に設置された架台に乗っての試乗



ではあるが、約30キロのスピードで砂埃を上げながら疾走?した。すごい震動と騒音である。これが最高速度の70キロで荒野を突っ走ったらどうなるのか想像を絶する。

早朝から長く暑い一日であった。しかし、良い体験が出来た。実際、あんな砲弾が飛び交う場所に自分が居たら、と想像するだけでゾツとする。

高橋

九月二日(木) 晴れ
四六三号 編集会議
広報委員 八名出席
午後二時半開会
四時閉会